

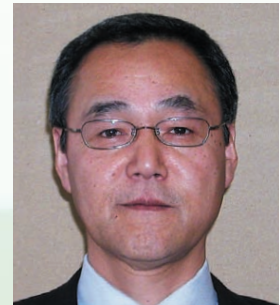
Contents

- ❖ 産学官のソフト面での協力・協働の拡大を！ 1
- ❖ 活動報告(9～10月) 2
- ❖ 新規事業のご案内「会員企業リクルート活動支援事業」 2
- ❖ 平成25年度テクノフォーラム開催報告 3
- ❖ 「広島大学新技術説明会2013 in 広島」開催報告 3
- ❖ これからの活動(イベント)情報 4
- ❖ 産学・地域連携センター 医工連携拠点推進部門長紹介 4
- ❖ 編集後記 4



産学官のソフト面での協力・協働の拡大を！

一般社団法人 中国地域ニュービジネス協議会
専務理事 紙元秀樹



中国地域ニュービジネス協議会（略称：中国 NBC）はニュービジネスへ関心を持つ方々の情報交流や連携の舞台となることを目指し、とりわけ「ニュービジネスの振興」を推進するため設立された経済団体です。中国地域5県にまたがる約500の会員の多くは中小企業であり、異業種の方々との交流を通じ「創造的な技術開発のヒントを得たい」「起業家精神を持ち続けたい」「先輩方の知見を得て可能性へ挑戦したい」など熱い思いをもっています。

いま、アベノミクス効果で日本全体の景気が好転してきており、中小企業の事業の拡大、多角化そして第二創業への意欲も確実に高まりつつあります。

こうした中、経済産業省、各県の経済担当部局、中小企業基盤整備機構、商工会議所等の経済団体、そして広島大学をはじめとする各教育・研究機関はそれぞれの立場で地域活性化、企業の創業支援、技術開発支援等の施策を積極的に展開しております。

一方、中小企業経営者からは引き合いは増えたが、実際の収益には結びついていないなど、まだまだ厳しいという声も多く聞きます。また、国・県・市そして各大学・研究機関の各施策・支援策、技術開発の進め方とその支援・指導等について複雑でわかりにくい、窓口が多くどこに相談すべきか悩む等のご意見も頂きます。

多分野にわたるさまざまな支援策や産学官の連携機会・スキームを、どのように効率的・効果的にニーズのある企業の支援に結びつけてゆくかが、いま求められています。ニーズ・シーズを具体的にビジネス化・創業・事業拡大・事業構造変革へと結びつけてゆくためには、情報の認知・共有の一層の促進、最適な支援のための相談会や連携機会の創出等もっとソフト面での産学官の連携関係者の協力・協働を実現してゆく必要があります。

我々協議会もこうした協力・協働に少しでも役に立つよう尽力したいと考えています。



Report 1 リカレント講座開催報告

平成25年度のリカレント講座は「機能分子材料開発の最前線」の大題目テーマのもと、下記の要領で開催されました。

日時：平成25年8月24日(土) 10:00~16:00, 9月7日(土) 10:00~16:00

会場：広島大学工学研究科115講義室

講師：播磨裕(工学研究院教授), 今栄一郎(工学研究院准教授),

駒口健治(工学研究院准教授), 大山陽介(工学研究院准教授)

第1日目は播磨教授と駒口准教授により、「色素増感太陽電池の原理と開発の現状」, 「グラフェン複合材料の蓄電デバイスへの応用」, ならびに「色素分子凝集緩和の効果」などについて, 第2日目は駒口准教授, 大山准教授, 今栄准教授により, 「かご型分子への水素原子包接技術の開発」, 「メカノフルオロクロミック色素のデバイスへの応用」や「有機薄膜太陽電池を目指した材料設計」などについて分かり易く解説をいただきました。

両日とも大手化学メーカーの研究者を中心に, 延べ人数で30名ほどの受講者がありました。当日は技術的に細かな質問もあり, 活発な質疑応答が行われました。今回の講義内容は将来有望な表示素子となり得る有機材料の解説であり, 今後の技術的發展や実用化が大いに期待される分野である, と再認識された聴講者も多かったようです。(H.S)



Report 2 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム

第26回(9月9日)の講師は, 前回に引き続き工学研究院の栗田雄一准教授。

「触覚・力覚のモデル化とその応用」と題して研修を行いました。

触覚・力覚は五感の一つであり, 皮膚内の触覚受容器, ならびに筋や腱内部の器官を利用することで我々は触感や力感に関する情報を得ている。これら触覚・力覚の機能を工学的にモデル化する手法について解説し, それを利用したコンピュータ・インタフェースならびに医用デバイスに応用した事例についての紹介を行いました。

第27回(10月15日)の講師は, 工学研究院の日野隆太郎准教授。

「プレス加工技術における数値シミュレーションの役割(その1)」と題して研修を行いました。

ものづくりの基盤技術である塑性加工, 特に板材プレス加工をテーマとして, 基礎的塑性変形挙動, 材料特性と加工性の関係, シミュレーションの役割などについて解説を行いました。(Y.Y)



Report 3 産学官連携推進研究協力会事業講演会 「感性がつなぐロボットと人の未来」

平成25年10月11日(金) 13:00より, ホテル広島ガーデンパレスにて, 講演会「感性がつなぐロボットと人の未来」を開催致しました。

全国から気鋭のロボティクス研究者5名を招き, ロボット関連技術活用の幅広い可能性について講演を頂きました。講演会の参加者は55名, 懇親会には19名の参加を頂きました。今回の講演会に向けては, 協力会未加入の企業や他大学の研究者にも参加を呼びかけ, 幅広い参加者構成となっております。発表後の質疑応答も参加者を交えた活発な議論がおこなわれるなど, 有意義な時間となりました。参加者相互や講師との名刺交換も積極的に行われており, この講演会が新たなコラボレーションの起点となる期待感のある場となりました。(K.A)



新規事業のご案内

「会員企業リクルート活動支援事業」

広島大学生向けの企業説明会への出展費用を助成します。

対象者 広島大学産学官連携推進研究協力会正会員

対象事業 広島大学生向けの企業説明会(一般社団法人広島大学工学同窓会主催)

開催日時 平成26年2月13日(木) 12:30~16:00, 平成26年2月14日(金) 12:30~16:00

開催場所 広島大学東広島キャンパス内東体育館

出展費用 1ブース2万円/日 **助成金額** 出展費用に対して2万円を助成。

助成金申込方法 申込書に必要事項を記載し, 出展費用支払い後の領収書の写しを添付の上, 平成26年2月21日(金)までに協力会事務局へご提出ください。

助成金申込様式 <http://kyoryoku.hiroshima-u.ac.jp/news/view/88>

※企業説明会の開催要領, 参加申込については広島大学工学同窓会のホームページをご覧ください。

<http://hiro-kogyokai.com/2013/10/1428/>

平成25年度テクノフォーラム開催報告

広島大学産学・地域連携センターでは、平成25年度テクノフォーラム（技術講演会）を下記要領にて開催致しました。ここにその概要等を報告致します。尚、本年度より本講演会を（広島大学産学官連携推進）研究協力会の主催行事と致しました。

開催日時 平成25年10月17日（木）14:40～17:40

開催場所 広島ガーデンパレス 2F 鳳凰の間

参加費 無料

演題・講師

大題目：3Dプリンターの動向 ～ものづくりへの活用の未来を探る～

1. 3Dプリンターの市場動向（30分）：丸紅情報システムズ(株) 製造ソリューション事業本部 マーケティング課長 丸岡浩幸氏
2. ライフ・3Dプリンターによる個人ニーズものづくり革命（40分）：山形大学 大学院 ソフト&ウエットマター工学研究室 教授 古川英光先生
3. 三菱重工における3Dプリンターの活用事例（40分）：三菱重工業(株) 技術統括本部 高砂研究所 主席研究員 原口英剛氏
4. 広島大学における研究・利用（50分）：
 - (1) 3Dプリンターの応用研究：広島大学 大学院 医歯薬保健学研究院 教授 村山長先生
 - (2) 3Dプリンターの医療・歯科医療への応用：広島大学 大学院 医歯薬保健学研究院 教授 二川浩樹先生

参加者人数 214名

現在、最もホットな商品開発及び利活用分野ということもあり、当日は実に214名もの多くの参加者を得ました。初めに、本学の理事・副学長である岡本哲治先生より挨拶をいただいた後、上記5名の講師による講演が行われました。各講演後の質疑応答も活発に行われて、有意義な技術講演会となりました。最後に、ご講演いただいた講師の先生方、ならびにご参加いただいた皆様方に改めて感謝申し上げます。下記には講演会風景の写真を示します。(H.S)



岡本理事・副学長挨拶



講師講演：丸岡氏



講演会場の様子

「広島大学新技術説明会2013 in 広島」開催報告

広島大学では、「広島大学新技術説明会2013 in 広島」を下記要領にて開催致しました。ここにその概要を報告致します。

開催日時 平成25年10月17日（木）10:00～14:00

開催場所 広島ガーデンパレス 2階（孔雀の間ほか）

後援機関 中国経済連合会、広島県商工会議所連合会、中国経済産業局、広島県、東広島市、(公財)ひろしま産業振興機構、(公財)ちゅうごく産業創造センター、(一社)中国地域ニュービジネス協議会、広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会

参加費 無料

開催内容 広島大学教員による最新技術シーズのプレゼンテーションならびにその個別技術相談会

参加者数 386名（延べ人数）

開催当日は企業関係者、公的研究支援機関等を始め、386名（延べ人数）の多くの皆様方にご参加いただきました。

各会場の主催者挨拶（A会場：橋本副センター長；B会場：藤本副理事）に続き、本学教員自らによる最新技術のシーズ紹介、その後の個別技術相談会、ならびに企業の方から本学教員との産学官連携活動（共同研究等成果報告）（プログラムB-5）も発表いただき、盛会裡に終了することができました。終わりに当たり、本新技術説明会にご参加いただきました皆様方に改めて感謝申し上げます。

なお、当日の発表資料（PDF ファイル）やプログラムについては産学・地域連携センター国際産学連携部門のホームページ（<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/17984>）からご覧いただけます。（地域版新技術説明会主担当 H.S, R.H）



教員シーズプレゼン会場風景

これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協力会の今後の活動予定をお知らせいたします。
ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

11月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第28回) 「プレス加工技術における数値シミュレーションの役割 (その2)」

日時 11月11日(月) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 工学研究院 日野 隆太郎 准教授

12月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第29回) 「都市化と自然現象 (I)」

日時 12月9日(月) 17:00~19:00

場所 産学・地域連携センター VBL オフィス

講師 工学研究院 日比野 忠史 准教授

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/>

産学官連携推進研究協力会についての入会方法および活動情報の URL は
<http://kyoryoku.hiroshima-u.ac.jp/> をご参照ください。

■ 産学・地域連携センター 医工連携拠点推進部門長紹介



三好 健一 Kenichi Miyoshi

E-mail: kmiyoshi@hiroshima-u.ac.jp

ひとこと：

医工連携拠点推進部門長を担当しています三好です。医工連携拠点は広島地域の産学官連携による研究開発や産業振興を推進するため、平成23年度に霞キャンパスに設置されました。拠点では医工連携による人間医工学応用次世代自動車研究を中心に、情報医工学・機能性ものづくり研究や細胞治療等先進医療研究を行っています。当部門では拠点プロジェクト推進のため、招聘研究者による研究や設備共用化による共同研究の推進、人材育成プログラムの開発と実施を行っています。拠点設備の利用や共同研究に関心がございましたら、いつでも見学や相談にお越しください。

(<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hibeam/>)

編集後記

ここ最近の朝晩は、すっかり寒くなり、日中との寒暖の差が激しくなりました。季節の変わり目に減法弱い私は、毎年恒例行事と書いていい程体調を崩します。毎年気を付けてはいるものの、体が朝晩と日中の寒暖の差についていけません。皆さんも、体調には十分ご留意ください。

(F.O)



発行：産学官連携推進研究協力会事務局 (広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内)

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL: 082-424-6031 / FAX: 082-424-6189 / E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

お問い合わせ先：広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL: 082-424-4302 / E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp